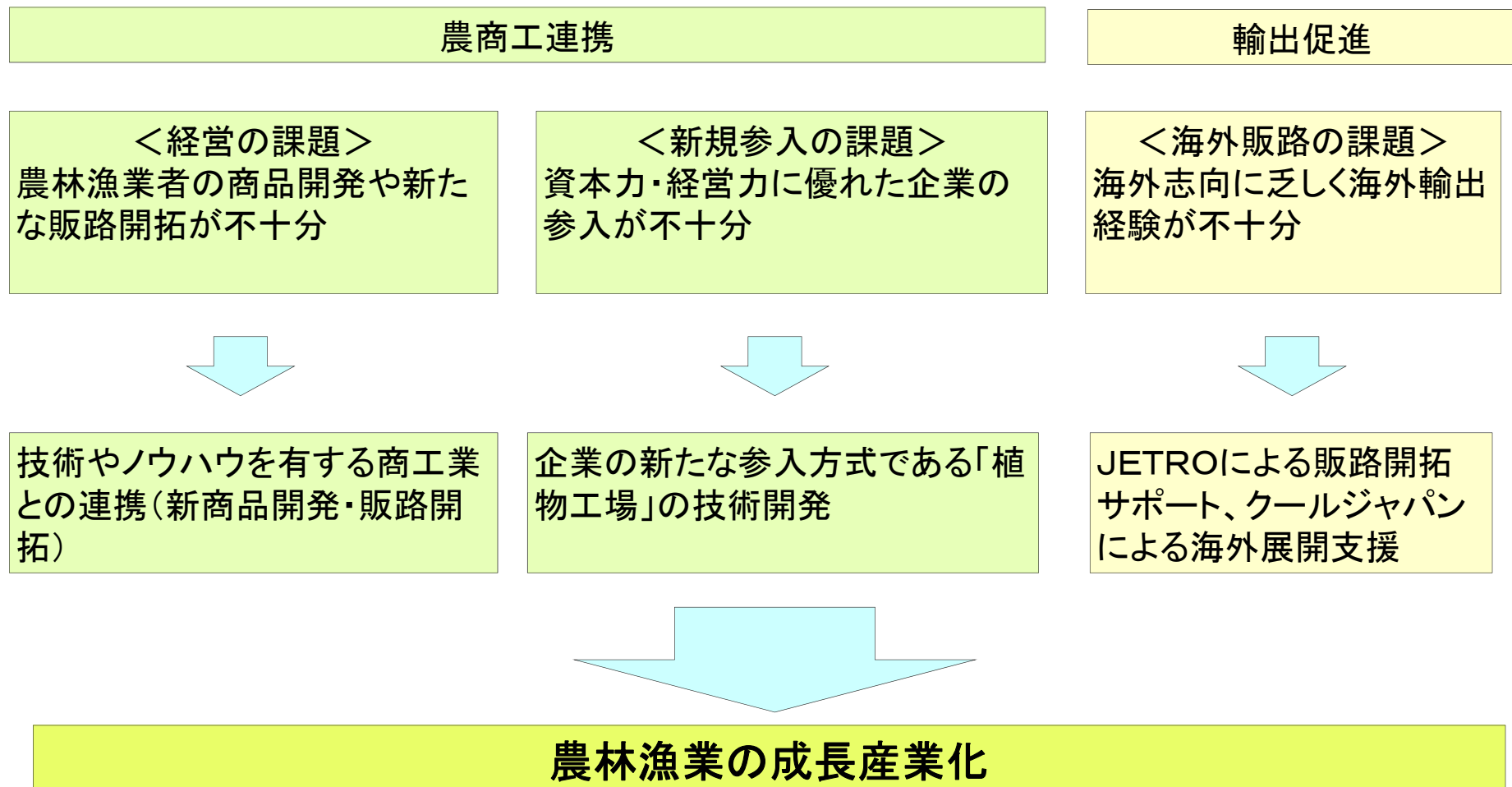


# 農商工連携と輸出促進

平成25年10月  
経済産業省

# 1. 経済産業省の取り組み

- 経済産業行政の知見や経験を活かして農林漁業の成長産業化を図るべく、農商工連携や輸出促進を推進。



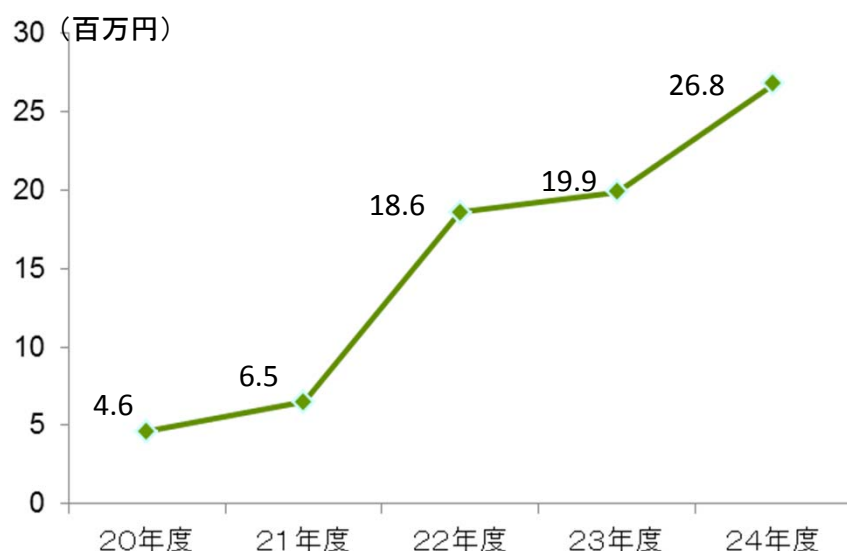
## 2. 技術やノウハウを有する商工業との連携

○「農商工等連携促進法(※1)」に基づき、農林漁業者と中小企業者が連携して行う商品開発・販売について、補助金や融資などにより支援。

※1: 正式名称: 中小企業者と農林漁業者との連携による事業活動の促進に関する法律

※2: 法認定件数(586件): 20年度177件、21年度184件、22年度64件、23年度60件、24年度60件、25年度41件(10月現在)

【1事業者あたりの平均販売実績額推移】



資料: (独)中小企業基盤整備機構の調査から作成  
※法認定期間中の事業者が対象

### (事例) へちま生産組合と化粧品会社の連携による化粧品の製造・販売

- ・富山県の大島町へちま生産組合と、愛知県化粧品会社(株)ネオナチュラルが連携し、へちま水を原料にした肌が弱い人も使用できる化粧品開発に成功。
- ・本事業による化粧品売上は、年間1.8億円。



写真: 開発した化粧水

○法認定件数は減少しているが、今後、農林水産省、商工会・商工会議所等と協力して有望案件の発掘に努め、農林漁業者と中小企業者が連携して行う商品開発等の支援を継続。

### 3. 「植物工場」の技術開発・普及促進

○新たな生産手法として「植物工場」に注目し、我が国のものづくり技術を導入した技術開発や普及を促進。

○平成23年度から25年度にかけて、先端技術を活用した低コスト、高効率な次世代モデルとなる植物工場の設置を支援(※)。※:平成23年度～25年度予算総額36.1億円

(支援事例) 富士通ホーム&オフィスサービス(株)の植物工場  
【福島県会津若松市】

- ・半導体クリーンルームの雑菌混入防止技術や省エネ技術を活用した先進的な植物工場を設置。
- ・腎臓病患者も安心して食べることができる低カリウムレタスを現在試験栽培しており、来年度から量産予定。



写真:低カリウムレタス



写真:植物工場内の写真

○今後、超微細な泡であるファインバブルを活用した高効率な栽培システムの開発や、温度・湿度を制御するセンサーシステムの開発により、さらなる植物工場の技術高度化を支援。

## 4. 海外への販路開拓支援

○成長する海外市場(※)を取り込んでいくために、「JETROによる輸出支援」や「クールジャパンによる食文化の海外展開」を推進。

※世界の食の市場規模は平成21年340兆円から平成32年には680兆円に拡大する見込み。(農水省「攻めの農林水産業の展開」(平成25年2月)より)

### ◇JETROによる輸出支援

- ・平成24年1月、JETRO内に「農林水産物・食品輸出促進本部」を設置して体制を強化。海外見本市を平成24年度15本から平成25年度30本に、海外バイヤーを招聘した国内商談会を平成24年度40回から平成25年度44回に拡充。



写真: タイのバイヤーを福島へ招聘

### ◇クールジャパン推進機構による海外展開支援

- ・クールジャパン推進機構を11月中にも立ち上げ、日本企業による海外需要の獲得を支援。日本食・日本産酒類など日本の特色を生かしたフードコートへの出資も候補の1つ。(平成25年度財政投融资計画額500億円)



写真: 出資先のイメージ図

○今後、JETRO、クールジャパンにより本格支援。また、平成26年度は生産・加工・流通をパッケージで輸出に取り組む事業を支援。